

「終末の我らの信念」

1 嵐の中の前進

① 目覚ましい500年

- ・ペンテコステと初代教会
- ・ローマ帝国のキリスト教化
- ・聖書の編纂
- ・使徒信条の制定

② 不確実の1000年

- ・制度化
- ・儀式化
- ・聖書より伝統
- ・信仰より形式

③ 前進の3世紀 1500～1800

- ・宗教改革 1517年10月31日
- 聖書のみ、信仰のみ、恵みのみ

④ 偉大な世紀（ヨーロッパ、北米） 1800～1914

⑤ 偉大な世紀（北アフリカ、アジア） 1800～1914

⑥ 偉大な世紀（中米、南米） 1800～1914

⑦ 嵐の中の前進 1914～

- ・信じられないほどの25年 1945～1969
- ・伝統的な牧師・教師・伝道者に加えて、使徒、預言者の回復
- ・聖霊の後の雨の注ぎ
- ・トランスフォーメーション

2 パラダイム転換（1991年、デイヴィッド・ボッシュ）

- ・個人の救いからその地方全体、全国家の救いの強調
- ・人のため、全国民のために
- ・聖徒の日常の働きそのものが礼拝である
- ・神の国の建てあげ
- ・バビロン構造の破壊と建設

3 第三勢力の台頭

- ① カトリック
- ② プロテスタント
- ③ ペンテコステ

4 現代の7つの世界大の事実

- ① 一般の人口増加率（1.20%）よりクリスチャンになる増加率（1.27%）が多い
- ② 福音派（2.19%）よりペンテコステ派（2.26%）が多い
- ③ 無神論者は、2050年をピークに急速に下降する
- ④ 都市化と共に、宣教は急成長する
- ⑤ キリスト教の拡大の中心は、南半球に移る
 - ・ヨーロッパ 0.04%
 - ・北米 0.56%
 - ・ラテン 1.18%
 - ・アジア 1.89%
 - ・アフリカ 2.89%
- ⑥ 伝道の機会の拡大
- ⑦ 2030年までに未伝道地と言われているところはなくなる